

東邦病院の循環器内科

循環器内科は、超急性期から慢性期まで、侵襲的治療から予防的治療までといった、非常に多様な治療ができる科です。その結果、個人の希望や好みに応じた Subspecialty や働き方の選択ができる科です。

東邦病院は、地域医療を担うケアミックス型の病院です。つまり、地域の急性期医療から慢性期医療までを、責任を持って行っています。循環器内科の実臨床に、最も近い場所での後期研修になると思います。

後期研修において、侵襲的 (Invasive) な治療を将来専門にすることを希望する場合は、虚血性心疾患に対する心臓カテーテル検査・治療や、不整脈疾患に対する、アブレーション治療やペースメーカー治療に積極的に関わり、スタンダードな治療法を習得することが可能です。また、非侵襲的 (Non-Invasive) な治療を専門とすることを希望する場合は、経食道エコー、冠動脈 CT から薬物治療、心臓リハビリ、予防医学などに重点的に取り組むことも可能です。

例えば、カテーテル検査・治療を習得するうえで大切なことは、早い時期にある程度の手技を経験することに加えて、最初に理論的で“スタンダード”な手技を経験することが重要だと思います。しかし、難しいのは、循環器のカテーテル治療分野において、幾つかの理論や幾つかの“スタンダード”がありません (信じる神が違くと、冗談で表現されたりします)。もちろん、当院でも理論的でスタンダードな治療を行っているとは自負していますが、一つの理論や方法論に拘束されずに研修できる環境を整えていければと思います。

後期研修は、良いことも嫌なことも経験すると思います。その中でも、楽しく前向きに医療を行える環境を一緒に作れたらと思います。また、当院は日本循環器学会認定研修施設ですので、循環器専門医を最短で取得可能です。

循環器内科部長 駒井 太一